



Subaru

# 男声合唱団

ニュース No. 184 09. 9. 26

みな肺で死ぬる女工の募集札  
売値のよい娘のきれいさを羨まれている  
ざん壕で読む妹を売る手紙  
タマ除けを産めよ殖やせよ勲章をやろう  
高梁（コウリヤン）の実りへ戦車と靴の鉢（びょう）  
屍（しかばね）のみないニュース映画で勇ましい

渡辺武 10周年コンサート実行委員長 と

橋本邦久「昂」団員 と



鶴彬  
(つるあきら)



曉を抱いて闇にゐる薔

手と足をもいだ丸太にしてかへし

などを詠った戦前の反戦川柳作家・鶴彬（つるあきら・写真）は、今年で生誕100年、大坂城の中に顕彰碑が建てられているが、顕彰碑建設の裏話と鶴彬について、渡辺武（わたなべ たける）元大阪城天守閣館長（写真・次ページ）が講演することを知り、出かけた。

▼鶴彬は1909年（明治42年）、石川県の高松町に生まれ本名は喜多一二（きた かつじ）と言う。

高等小学校を卒業して大阪の町工場で働きながら新興川柳運動の先駆者森田一二に学び、16歳の時。川柳誌に作品が掲載され世に出た。処女作は「暴風と海の恋を見ましたか」だった。

▼1927年（昭和2年）上京、19歳で全日本無産者芸術連盟（ナップ）に参加してプロレタリア川柳の実践活動をした。2年後に金沢第7連隊に入営、一連の反軍・反戦活動で重営倉に入れられ、翌年連隊赤化事件



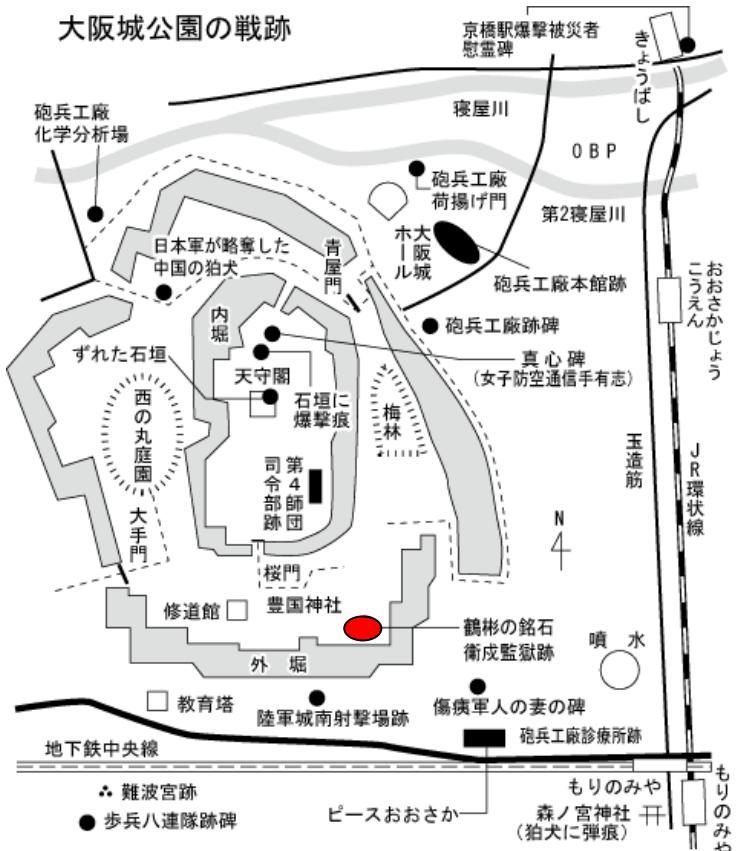
で大阪衛戍監獄に収監された。2年で刑期満了で除隊、通信社に就職するがその年特高に検挙され、留置所で拷問の末、赤痢にかかり（あるいは、り患させられ）、1933年9月14日、小林多喜二の拷問死と同い年の29歳で死去した。検挙の元となった、活字になった最後の句は

万歳とあげた手を大陸においてきた  
胎内の動きを知るころ骨（こつ）がつき

▼顕彰碑は元衛戍監獄があった場所に建てられているが、建立について渡辺元館長は、城内が史跡であることから顕彰碑として建てることが許されず、寄贈された百日紅（さるすべり）の植樹として、何度も交渉の末、許可されたというエピソードなど語った。顕彰碑建立は6年前からあかつき川柳会が中心となり、作家の澤地久枝さんらの協力で募金活動し、昨年9月、除幕式をした。

▼小林多喜二と同時代に生きてともに命がけで反戦を貫き、川柳を文芸の地位まで高めた鬼才・鶴彬の碑は出生の石川県と兄とともに眠る盛岡市に計三つある。憲法9条を守る運動が広がりを見せる今、鶴彬が詠んだ

枯れ芝よ！団結をして春を待つ  
の精神は今の時代も脈々として生きている。大坂城を訪れたら城内公園にある豊国神社東側の碑を見に立ち寄って思いをはせてほしい。（ブログ「谷9通信」2009.2の記事をもとに加除）



▼ここにお名前の出てくる、渡辺武・元大阪城天守閣館長（写真）は、「昂・紫金草10周年コンサート」の実行委員長をお引き受けいただいています。

▼また、この顕彰碑の「暁を抱いて闇にゐる薔」の揮毫をされたのが、わが男声合唱団「昂」の団員、橋本邦久さんです。橋本さんの筆使いは熟達の域ですが、ただ達筆なだけではこの句に相応しくない、橋本さん自身、会社によるつらい思想差別と鬪った歴史もふまえて、様々に心をこめ、工夫をされた結晶がこの揮毫です。一度みなさん、訪れてみてください。

